

グローバルで初のハイパースケールとなる NVIDIA B300 搭載 AI クラスターの構築を発表 200 ExaFLOPS（エクサフロップス）を超える計算性能を実現

データセクションは本日、NVIDIA B300 GPU（10,000 個）搭載サーバー（1,250 台）の調達に成功し、世界最大規模のクラウドサービスプロバイダーからの要請に基づき、200 ExaFLOPS（エクサフロップス）を超える計算性能（FP4）を提供する世界でもトップクラス、かつ、グローバルで初のハイパースケールとなる NVIDIA B300 搭載 AI クラスターをオーストラリア・シドニーに構築します。今回のプロジェクト発表は、データセクションがアジア・パシフィックにおいてトップクラスであるだけでなく、グローバルでも AI インフラストラクチャのリーディング企業の 1 社としての地位を確立するものです。

このスーパークラスターは、NVIDIA の最新 Blackwell B300 テクノロジーを活用し、日本およびアジア太平洋地域全体の企業向けにエンタープライズグレードの AI 計算サービスを提供します。この展開は、企業・組織が AI トランスフォーメーションを加速させる中で、需要が供給を大幅に上回る地域における深刻な高性能 AI 計算インフラ不足に対応します。

戦略的パートナーシップがスケラブルな成長を推進

データセクションは、アジア有数のサーバー機器サプライヤーである台湾台北市に本社を置く Inventec Corporation との戦略的パートナーシップに基づき、AI データセンター事業の展開・拡大に向けて、最先端かつ信頼性の高い GPU 搭載サーバーの供給を確保しました。このパートナーシップにより、データセクションは次世代ハードウェアへの優先アクセス権を獲得し、複数市場での迅速な事業拡大を可能にします。

データセクション CEO の石原紀彦氏は次のように述べました。「今回のプロジェクトは、当社がアジア・パシフィックで最大かつ最も信頼される AI クラウドサービスプロバイダーとしての地位を確立した非常に大きな一歩といえます。今回シドニーで構築する AI クラスターは、10,000 個の GPU（1,250 台）を搭載する巨大なクラスターです。NVIDIA B300 を搭載するハイパースケールとしてはグローバルでも初の構築となります。今回の成果を世界へ発信できることを嬉しく思います。当社は、今後、パートナーとの協業を通じて、アジア・パシフィック地域全体の次世代 AI イノベーションを支えるインフラ基盤を最速で確立してまいります。

独自技術が競争優位性を強化

データセクションの競争優位性の核心は、AI ワークロード向けの大型 GPU クラスターの運用を最適化する独自アルゴリズムシステム「TAIZA」です。「TAIZA」は、標準的なクラスター管理ソリューションと比較して、リソース利用率の向上、運用コストの削減、パフォーマンスの信頼性向上を実現し、顧客に明確な価値を提供します。

この技術は、当社の AI データセンターアーキテクチャの効率を最大化するように設計されており、機械学習のトレーニング、推論ワークロード、高性能計算アプリケーションにおいて最適なパフォーマンスを提供します。

市場機会と拡大戦略

アジア・パシフィックの AI インフラ市場は、製造業、金融サービス、医療、テクノロジー業界における AI 導入の加速に伴い、大幅な成長が見込まれています。データセクションは B200/B300 技術における先駆者優位性を活かし、拡大する市場において大きなシェアの獲得を目指します。

以 上

※記載されている会社名及び商品・サービス名は、各社の登録商標又は商標です。
※本プレスリリースに掲載されている内容は、発表時点の情報です。

報道関係者様お問合せ先
データセクション株式会社 グループ経営企画部 050-3649-4858 bm-cp@datasection.co.jp